

# 松戸市環境未来会議2025

## 第4回 脱炭素な街づくりについて考えよう！

2025 年 9 月 28 日（日）13:00 ～ 17:00  
キテミテマツド9階 アートスポットまつど



# 参加者の皆様へ

- ✓ 記録や取材のため、会議の様子を撮影、録音します。
- ✓ 動画の一部は、後日、松戸市公式YouTubeで配信します。
- ✓ 写真の一部は広報に使用する可能性があります。
- ✓ 写りたくない方は、お近くの事務局スタッフまでお声掛けください。
- ✓ 参加者が写真を撮影される場合は、他の参加者の個人を特定できない写真となるようにご配慮をお願いします。
- ✓ 十分ご配慮いただければ、その写真をSNSへ投稿していただいても構いません。

# 傍聴者の皆様へ

- ✓ グループワーク中については、席を立ち見ることは可能ですが、参加者への声掛けをしない、参加者の中に入り込まない、参加者の導線を妨げないでください。
- ✓ 傍聴人は、会議での発言はできません。
- ✓ 写真撮影・SNSへの投稿などは、良識の範囲内で行っていただいて問題ありません。ただし、参加者やその発言が特定されないよう、十分に注意してください。
- ✓ 動画撮影や録音は、主催者の許可がある場合以外は行わないでください。

# 会場の皆様全員へ

- ✓ 地震、火事等の災害時には、会場のアナウンスやスタッフの指示に従い、落ち着いて行動してください。

# 松戸市環境未来会議2025

## 第4回 脱炭素な街づくりについて考えよう！

2025 年 9 月 28 日（日）13:00 ～ 17:00  
キテミテマツド9階 アートスポットまつど



## 【目 的】

- ✓ 松戸市は、気候変動問題に対処するため、市民、事業者、行政が連携して取り組み、二酸化炭素排出量を実質ゼロ(＝ゼロカーボン)とすることを目指しています。
- ✓ この会議では、この問題について学びながら議論を重ね、「ゼロカーボンシティまつど」の実現に向けた取り組みをまとめます。

## 【参加者】

- ✓ 無作為に抽出した松戸市民から応募者を募り、世代構成や男女比が市の縮図となるように、50名の参加者を選びました。

**参加者：松戸市民50名**

**主 催：松戸市**

**アドバイザー：尾内 隆之 先生**（流通経済大学 法学部 法学研究科 教授）

**司会進行：平野 将人 氏**（一般社団法人銀座環境会議 代表）

**ファシリテーター：松戸市を中心に活動する方たち**

**運 営：株式会社エックス都市研究所**

**本日の講師**

**倉阪 秀史先生**（千葉大学 大学院社会科学研究院 教授）

## 【会議のゴール】

✓「ゼロカーボンシティまつど」の実現に向けた市民、事業者、行政の取り組みをまとめます。

ゼロカーボンアクションまつど  
(消費・生活編)

## 【成果の活用方法】

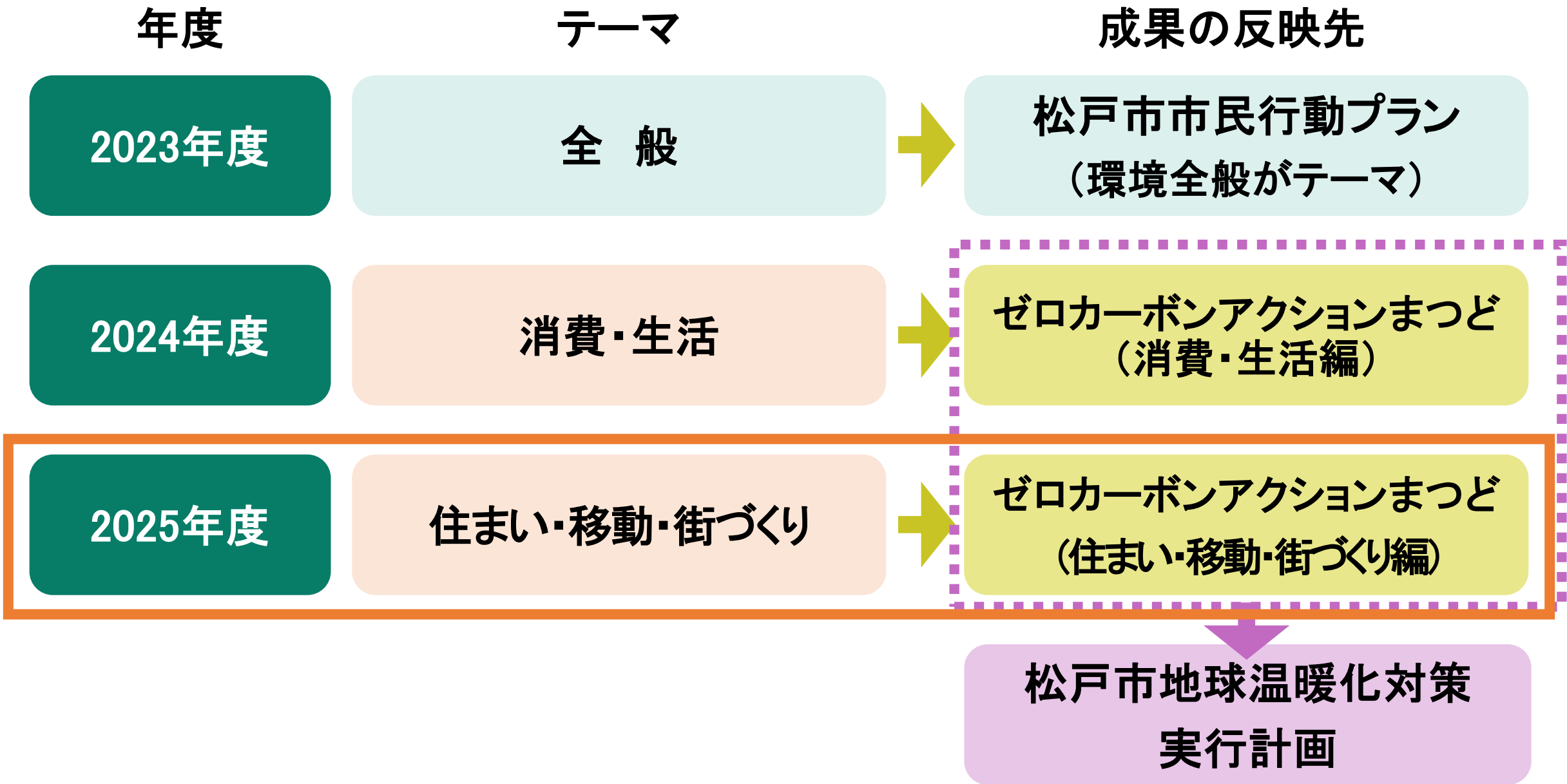
✓ 取り組みの内容を精査したうえで、「ゼロカーボンアクションまつど」や「地球温暖化対策実行計画」に反映していきます。



松戸市地球温暖化  
対策実行計画







## 第1回

### 脱炭素を身近に感じよう！

2025年6月15日（日） 講師 江守 正多 先生

## 第2回

### 脱炭素な住まいについて考えよう！

2025年7月13日（日） 講師 宮田 征門 先生、竹内 昌義先生



## 第3回

### 脱炭素な移動について考えよう！

2025年8月24日（日） 講師 松橋 啓介 先生



## 第4回

### 脱炭素な街づくりについて考えよう！

2025年9月28日（日） 講師 倉阪 秀史先生



投票

## 第5回

### 目指せ！脱炭素な松戸市

2025年10月26日（日）

## 第5回会議

### 1 「住宅」「移動」「街づくり」の取組提案の紹介

### 2 投票の実施

- ・ その場でWEB投票を実施・集計



### 3 グループワークと成果発表

- ・ 市民が環境のために活動するきっかけについて提案



### 4 投票結果の共有

- ・ WEBでの集計結果を共有
- ・ ゼロカーボンアクションまつど
- ・ (移動・住まい・街づくり編)に掲載される取組をお伝えする



## 会議終了後

「エコアクション(仮)」

冊子に取りまとめ

ゼロカーボンアクションまつど  
(移動・住まい・街づくり編)

1

## 市のテーマに関する情報提供



松戸市民の主な交通手段、松戸市の自動車保有台数、松戸市の温室効果ガス排出量(運輸部門)等

2

## 講義

「移動の脱炭素」



講師:松橋 啓介先生  
国立研究開発法人国立環境研究所, 社会システム領域, 室長

3

## グループワークと投票

「移動の課題・目指すべき姿・取組」



4

## 成果発表

グループワークの  
成果発表

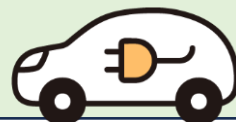


# 「移動」に関する提案された取組一覧 1

松戸市環境未来会議2025

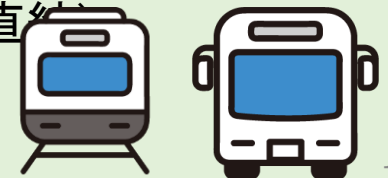
## #自動車・充電設備

- ・ 市民:EVや充電設備の補助制度を利用して、EVを導入、充電設備の設置をする
- ・ 事業者:松戸市内で運行するバスのEV化を進める
- ・ 事業者:松戸市内の宅配業者が所有する車両をEV化する
- ・ 事業者:市内事業者の古い社有車をEV化させる
- ・ 事業者:EVのバッテリー関連の課題を解決する(持ち運べる電池、走行中充電など新技術開発)
- ・ 事業者:自動運転EVを安価に普及させる
- ・ 行政:EVや電動バイクの開発・普及を支援する
- ・ 行政:EV購入への助成金・補助金を拡充する
- ・ 行政:大型自家用車保有への負荷増加措置を講じる
- ・ 行政:高齢者の移動手段を確保する(セニアカー等への補助)
- ・ 事業者・行政:自家用車の相乗りの仕組みを整備する
- ・ 事業者・行政:充電設備を充実させる(急速充電・補助金による設置支援・充電スポット増設)



## #公共交通機関の利用促進

- ・ 市民:バス等の運行本数を増やすために、市民は積極的に公共交通機関を利用する
- ・ 事業者:車いす・ベビーカーなど交通弱者に配慮した車両やサービスを拡充させる
- ・ 行政:バス会社・鉄道会社へのサービス向上、バス本数増加のための支援を行う
- ・ 行政:公共交通共通パス(定期券・お得パス)を交付する
- ・ 行政:公共交通機関にトイレ・パーソナルスペースを確保する
- ・ 事業者・行政:乗合バス、デマンドバス、すき間バスを運行する
- ・ 事業者・行政:市民の市内電車利用を無料化する
- ・ 事業者・行政:バス停を改善する(屋根設置、運行の遅れ表示、リアルタイム到着案内)
- ・ 事業者・行政:生活拠点ごとに分けた交通サービスを整備する(学校・病院・商業施設などへ直結)



# 「移動」に関する提案された取組一覧 2

松戸市環境未来会議2025

## #物流の脱炭素化

- 市民: 宅配BOXを利用して配送の二度手間を減らす
- 事業者: 通販配送の相乗り仕組みの整備(一括配送・一括受け取り)
- 事業者・行政: 流通事業者へのCO<sub>2</sub>排出量の削減の義務化と支援を実施する



## #自転車の利用促進

- 市民: 移動手段として自転車を利用する
- 行政: 自転車道や自転車レーンの整備
- 行政: 電動自転車への補助金、利用促進施策を実施する
- 行政・事業者: 自転車優遇制度を実施する(駐輪場整備、利用者割引など)



## #シェアサービスの利用

- 市民: グリーンスローモビリティや、カーシェア・シェアサイクル等を積極的に活用する
- 事業者: LUUPなどの電動マイクロモビリティを普及させる
- 事業者: 移動販売や共同利用サービスを拡大させる
- 行政: アプリ導入などにより、グリーンスローモビリティの利便性を向上させる
- 事業者・行政: シェアサイクルやカーシェアの普及に取り組む
- 事業者・行政: シェアサービスの走行距離や利用に応じたポイント制度をつくる



## #道路整備

- 行政: バス専用路線の拡充で遅延を減らす
- 行政: 自転車・歩行者専用道路やレーンを整備する
- 行政: 地下通路や地下道を整備する
- 行政: 道路の一方通行化や車両制限による交通整理を実施する
- 行政: コンパクトシティ化を見据えた道路を整備する
- 事業者・行政: 駐車場を増やす





## #ライフスタイル・意識変革

- ・ 市民・事業者: 移動しないで生活する工夫(在宅勤務・Webミーティング)を個々で行い、事業者は環境整備をする
- ・ 市民・事業者・行政: 公共交通の積極的利用や歩いて暮らせる生活確立に向けた市民への普及啓発を行う
- ・ 市民・事業者・行政: 健康アプリを開発し、歩行・自転車利用を促進させる
- ・ 市民・事業者・行政: 歩く距離の対抗戦、ウォーキングキャンペーンを実施する



## #その他

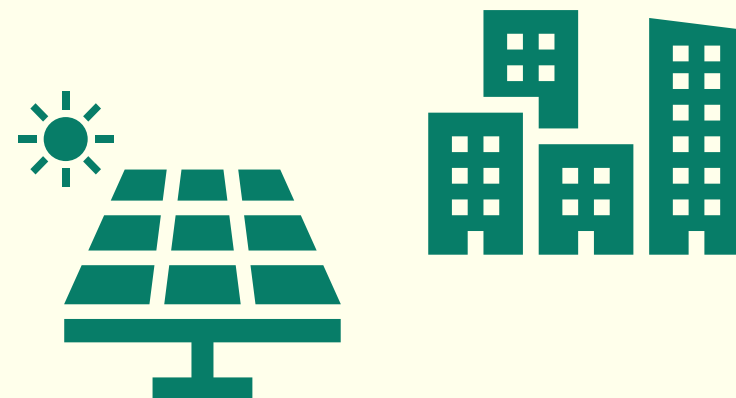
- ・ 事業者: 新しいエネルギー源を開発する
- ・ 行政: 公共サービスをデジタル化する
- ・ 行政: 街路樹・緑化、休憩ベンチ、公園・遊具の整備を行う
- ・ 市民・行政: 市民参加型アイデアコンテストを実施する
- ・ 市民・行政: 松戸市環境未来会議を継続実施する
- ・ 事業者・行政: 個人タクシー制度を柔軟化する(副業的運営)
- ・ 事業者・行政: 新交通システム(AI活用・小型モビリティ)を開発する
- ・ 事業者・行政: 通学バスを再利用する
- ・ 事業者・行政: 商業施設の立地優遇(競合施設が少ない地域への誘導)をする
- ・ 事業者・行政: CO<sub>2</sub>削減効果の「見える化」システムを導入する
- ・ 事業者・行政: 食材・弁当宅配や共同購入システムを導入する

13:00～13:25	開会・前回の振り返り
13:25～13:35	市のテーマに関する情報提供
13:35～14:20	講義「ゼロカーボンな街づくり」 講師 <b>倉阪 秀史先生</b> （千葉大学 大学院社会科学研究院 教授）
14:20～14:35	休憩
14:35～15:35	グループワーク
15:35～15:50	投票
15:50～16:05	休憩
16:05～16:20	グループワーク
16:20～16:45	成果発表
16:45～17:00	本日の総括・閉会



# 第4回会議の概要

「脱炭素な街づくりについて考えよう！」

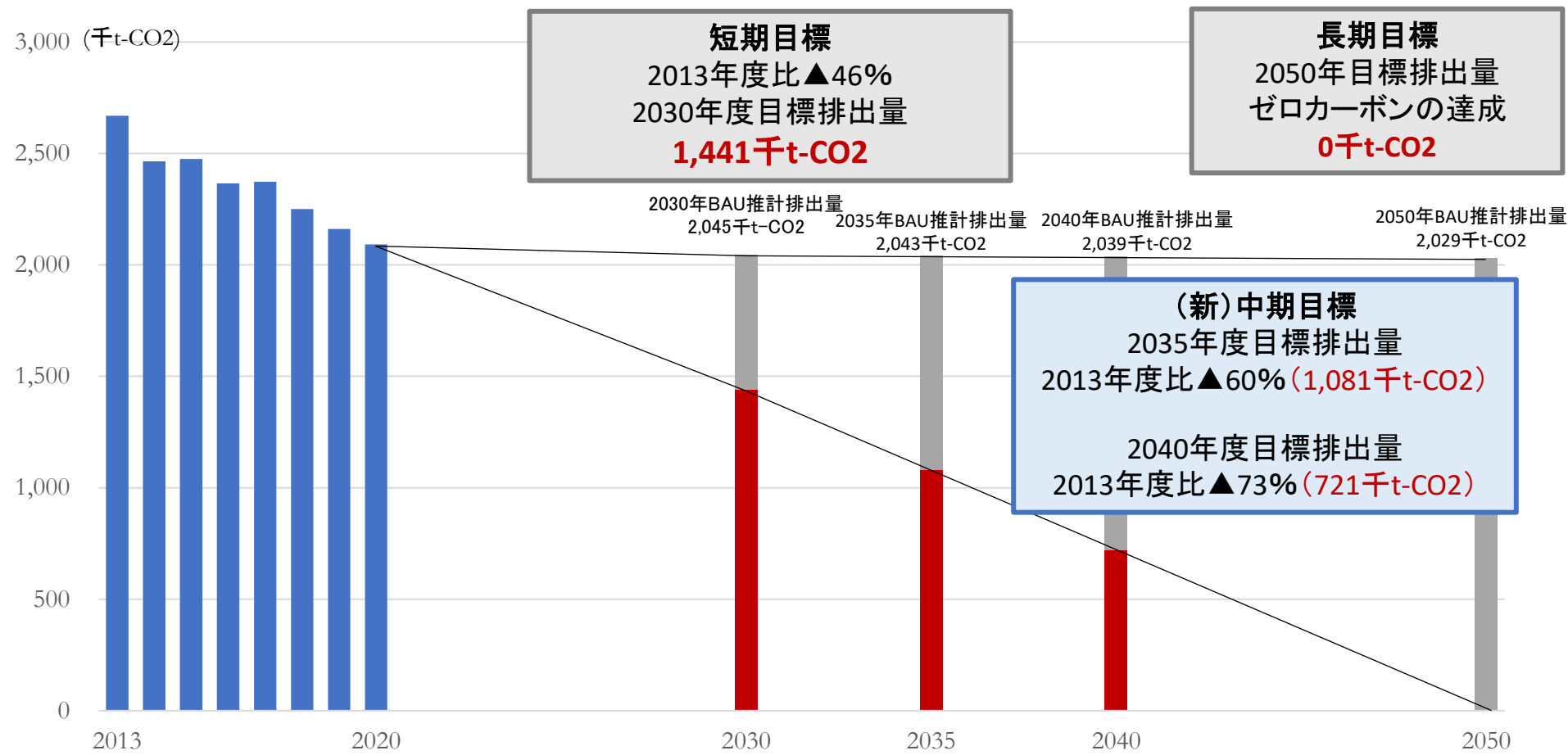


# 市のテーマに関する情報提供

# 松戸市民の温室効果ガス削減目標(案)

- 松戸市の温室効果ガス排出量の削減目標は、2030年度目標である、2013年度比46%削減達成を短期目標として設定し、長期目標として2050年ゼロカーボンの達成を掲げる。
- ※新たに中期目標として2035年度において2013年度比60%削減、2040年度において2013年度比73%削減の目標を掲げる予定。

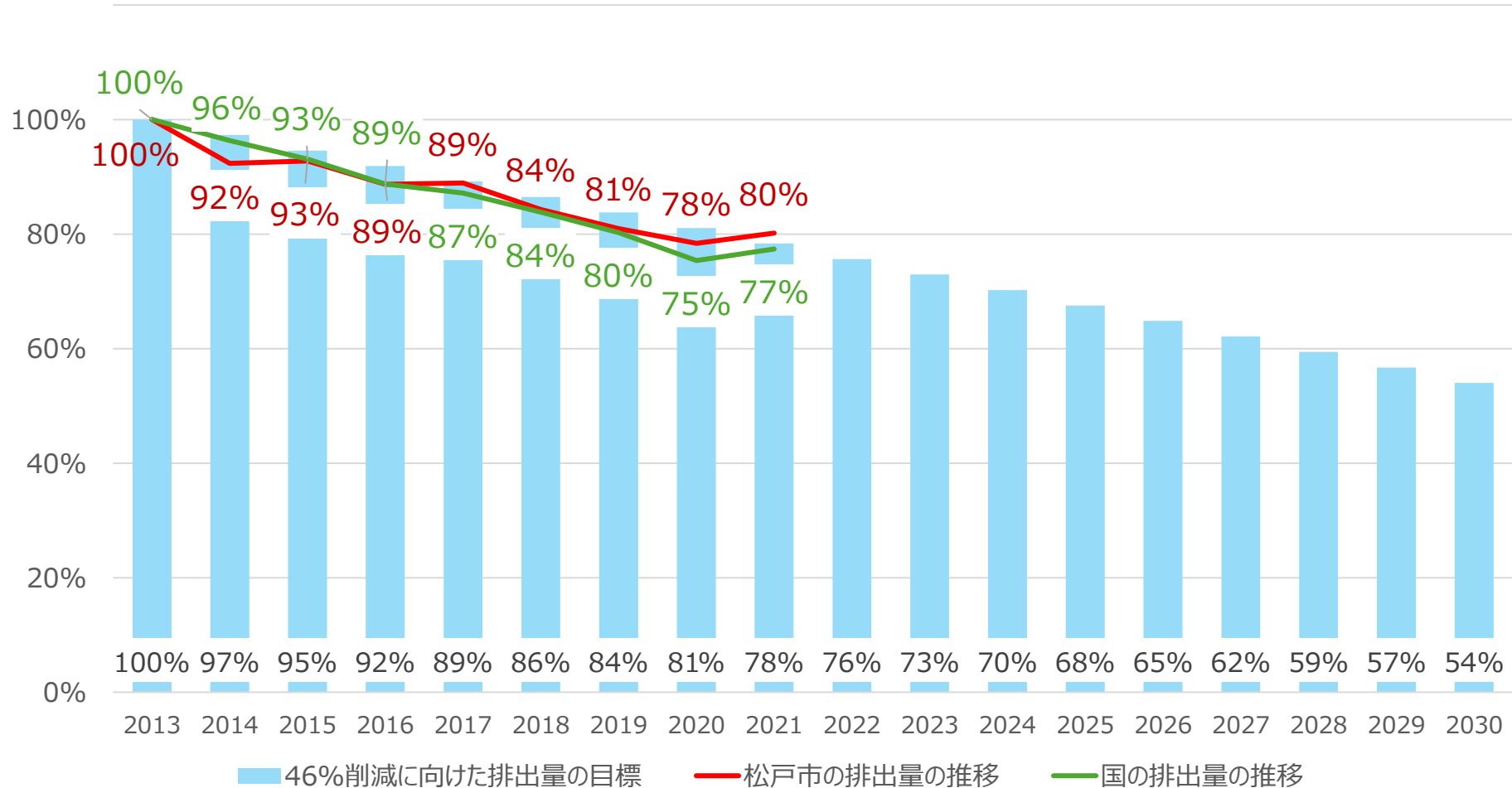
松戸市の温室効果ガス排出量削減目標のイメージ



# 松戸市の温室効果ガス排出量の推移

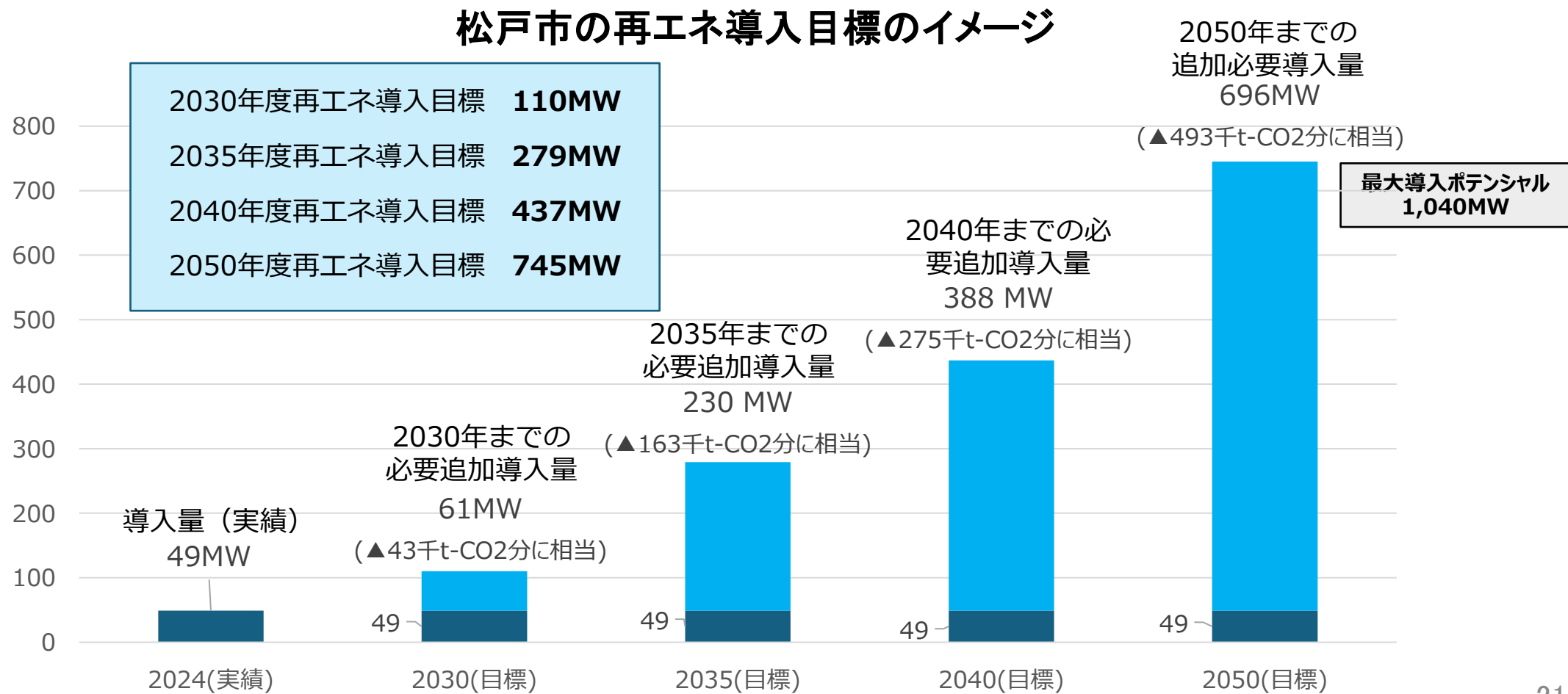
- 松戸市及び国の温室効果ガス排出量の推移はともに2013年度以降、減少傾向にあり、2030年度削減目標の達成に向けて必要な年ごとの削減率を達成している。

松戸市及び国の温室効果ガス排出量の推移



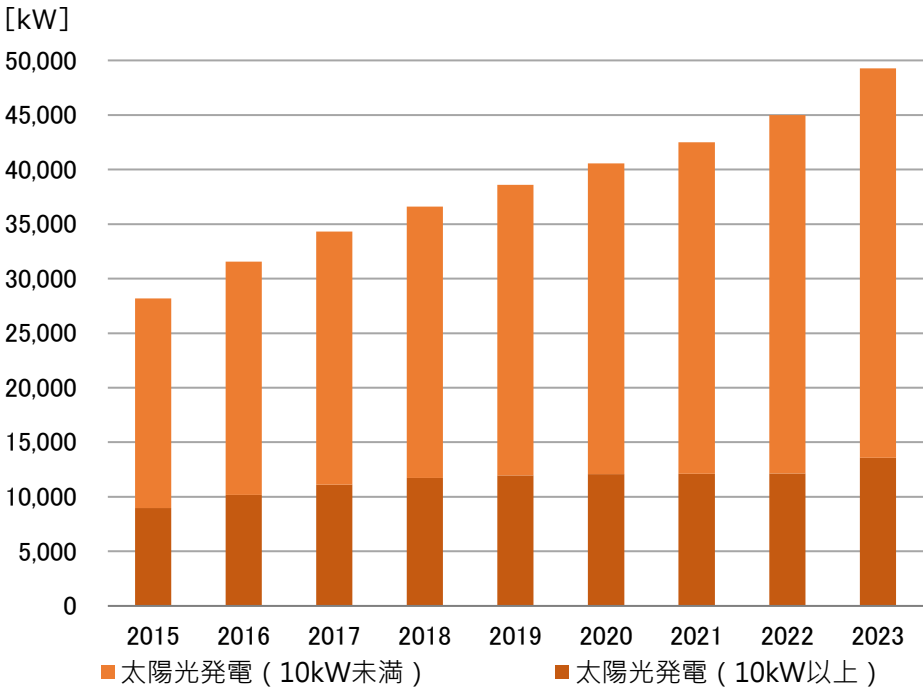
# 松戸市の再エネ導入目標(案)

- 松戸市の2030年度における再エネ導入目標は、110MWとなっており、2050年度における再エネ導入目標は、745MWとなっている。
- 再エネ導入目標は、現状の市域の排出のトレンドや将来の市のトレンドをもとにしたBAU推計、さらには国における排出源対策等を考慮し、市において追加的に必要な削減量を再エネの導入によって賄う方針のもと設定されている。



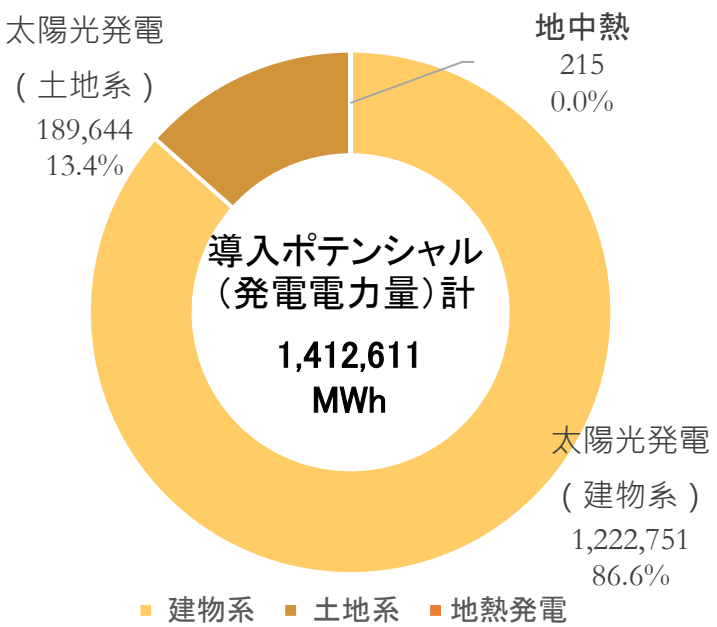
- 松戸市の再エネ導入量\*は2015年以降増加。2023年においては約50MWが導入されている。
- 松戸市の再エネ導入ポテンシャルの構成は発電電力量換算で太陽光発電が99.9%とほとんどを占めている。太陽光発電のポテンシャルのうち86.6%が建物系への導入ポテンシャルとなっており、住宅や建築物への太陽光発電設備の導入推進が重要となる。

松戸市の再エネ導入の状況



\*再エネ導入量はFIT・FIPによる導入量を指す

松戸市の再エネ導入ポテンシャルの構成



※環境省自治体排出量カルテより

【出典】令和7年度第2回松戸市脱炭素専門部会資料

松戸市立地適正化計画の将来都市構造

立地適正化計画における将来都市構造図



【出典】松戸市立地適正化計画

拠点の分類	拠点設定箇所	拠点の特性
広域交流拠点	松戸駅周辺	大型商業・業務機能や行政機能等とともに、日常生活に必要な一通りの機能を備えた拠点
交流拠点	新松戸駅周辺、新八柱・八柱駅周辺、東松戸駅周辺	広域交流拠点を補完する広域性・集客性の高い施設のほか、日常生活に必要な機能を有する拠点
生活拠点	北松戸駅周辺、馬橋駅周辺、北小金駅周辺、上本郷駅周辺、みのり台駅周辺、常盤平駅周辺、五香駅周辺、矢切駅周辺、秋山駅周辺、松飛台駅周辺、六実駅周辺、小金原センター周辺	日常生活に必要な身近な生活サービス施設を備えた拠点

- 松戸市では2025年7月～8月にかけて、「松戸市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」策定に向け、市民の省エネ、再エネ設備導入状況等に関する動向調査を目的に、市民向けアンケート調査を実施。 ※現在、回答を集計中

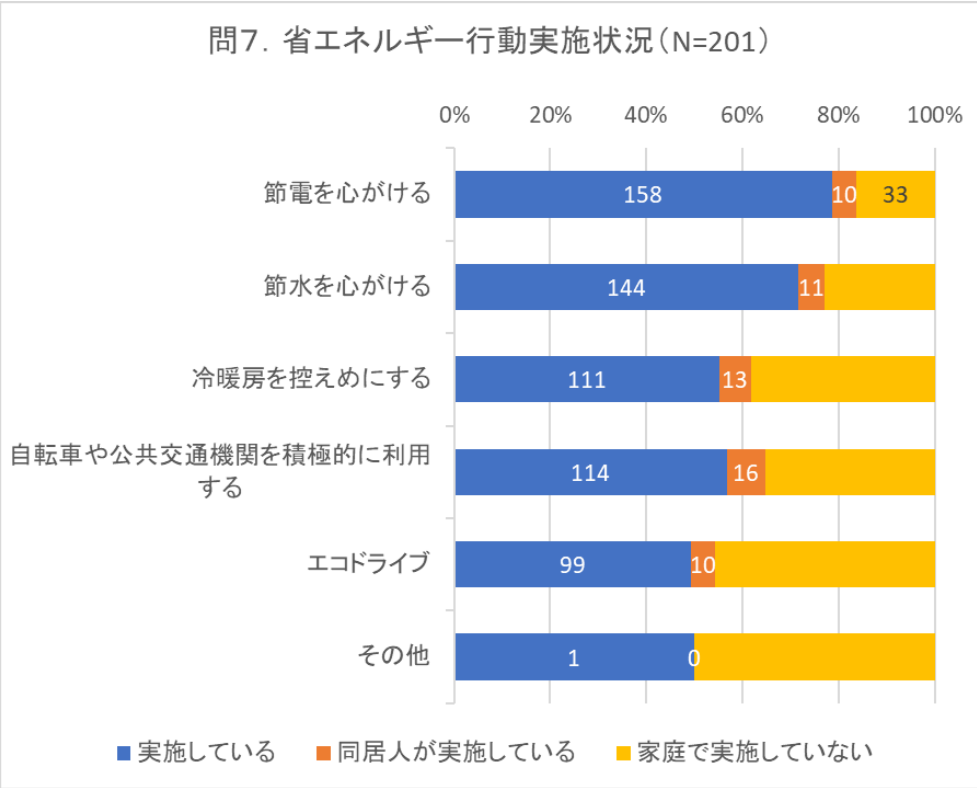
調査項目および内容

項 目	設問内容	設問形式
1. 住まいに関する事項	問 1 住宅の形式	選 択
	問 2 住宅の築年数	選 択
	問 3 エネルギー使用量	数値記入
2. 自動車に関する事項	問 4 自動車保有状況	選 択
	問 5 自動車種別保有台数	選 択
	問 6 自動車燃料使用量	数値記入
3. 省エネに関する事項	問 7 省エネ設備の導入状況	選 択
	問 8 省エネ行動の実施状況	選 択
4. 再エネ設備の導入に関する事項	問 9 再エネ設備の導入状況	選 択
	問 1 0 再エネ設備の今後の導入意向	選 択
	問 1 1 再エネ設備を導入したい理由	選 択
	問 1 2 再エネ設備を導入したくない理由	選 択
5. 再エネ由来電力の購入に関する事項	問 1 3 契約電力会社	選 択
	問 1 4 再エネ由来電力の購入状況	選 択
	問 1 5 再エネ由来電力の今後の購入意向	選 択
	問 1 6 再エネ由来電力を購入したい理由	選 択
	問 1 7 再エネ由来電力を購入したくない理由	選 択
6. 太陽光発電の設置促進に関する事項	問 1 8 松戸市における太陽光発電の設置義務化の動きに対する考え	選 択
	問 1 9 松戸市における太陽光発電の設置義務化についての意見	自由記述
	問 2 0 松戸市における太陽光発電の設置規制の緩和についての意見	自由記述



省エネルギー化行動の実施状況について

家庭で実施している省エネ行動では、「節電を心がけている」が79%と最も多く、次いで「節水を心がける」が72%、「自転車や公共交通機関を積極的に利用する」が57%となっている。

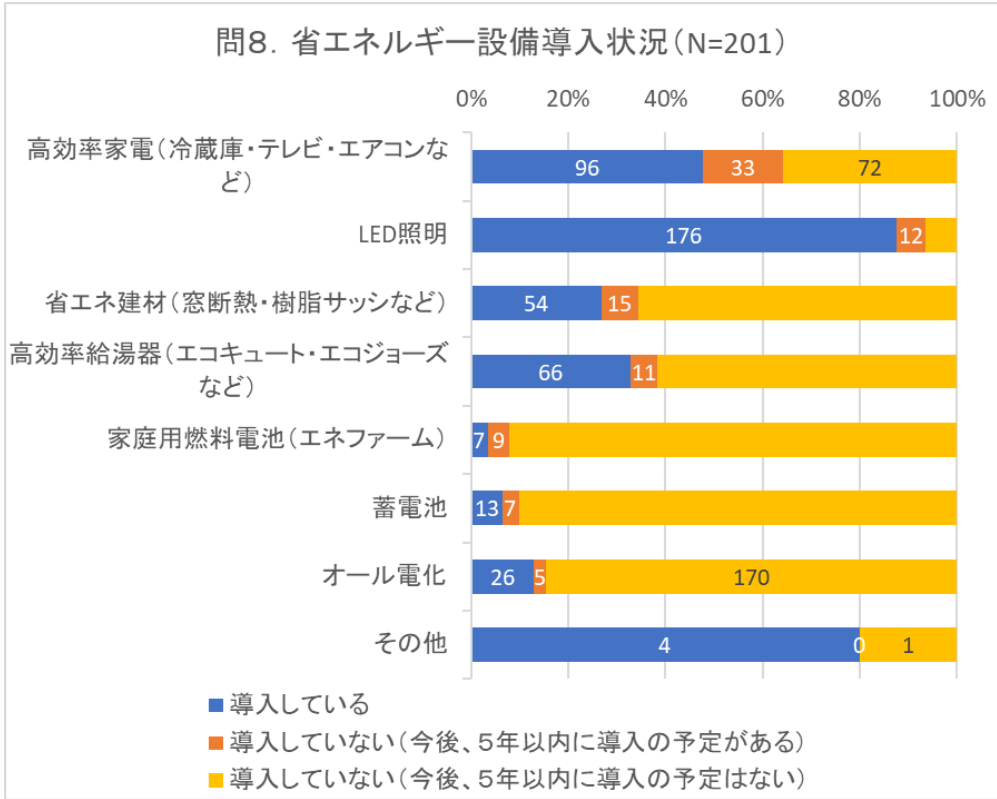


※グラフ内の数値はいずれも回答者数

※調査結果は速報値です。

省エネルギー設備の導入状況について

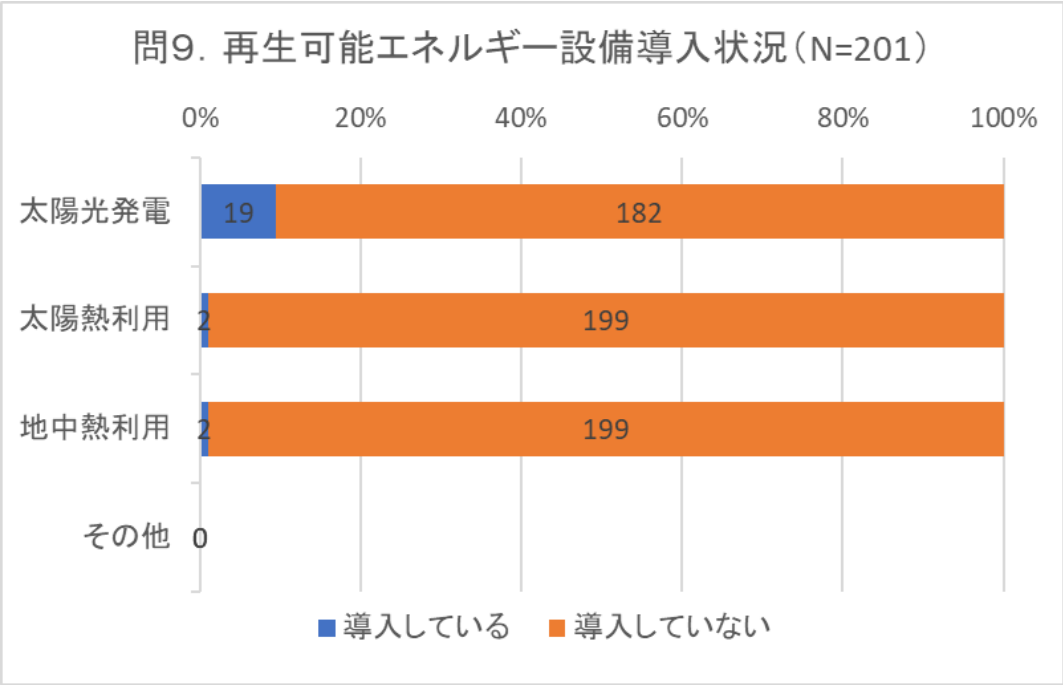
家庭で導入している省エネ設備の割合として最も多いのが「LED照明」で88%となっており、次いで「高効率化電」が48%となっている。



※グラフ内の数値はいずれも回答者数

再エネ設備の導入状況について

太陽光発電を導入していると答えた人の割合は9%で、再エネ設備を導入していると答えた人のうちの83%と大半を占める。

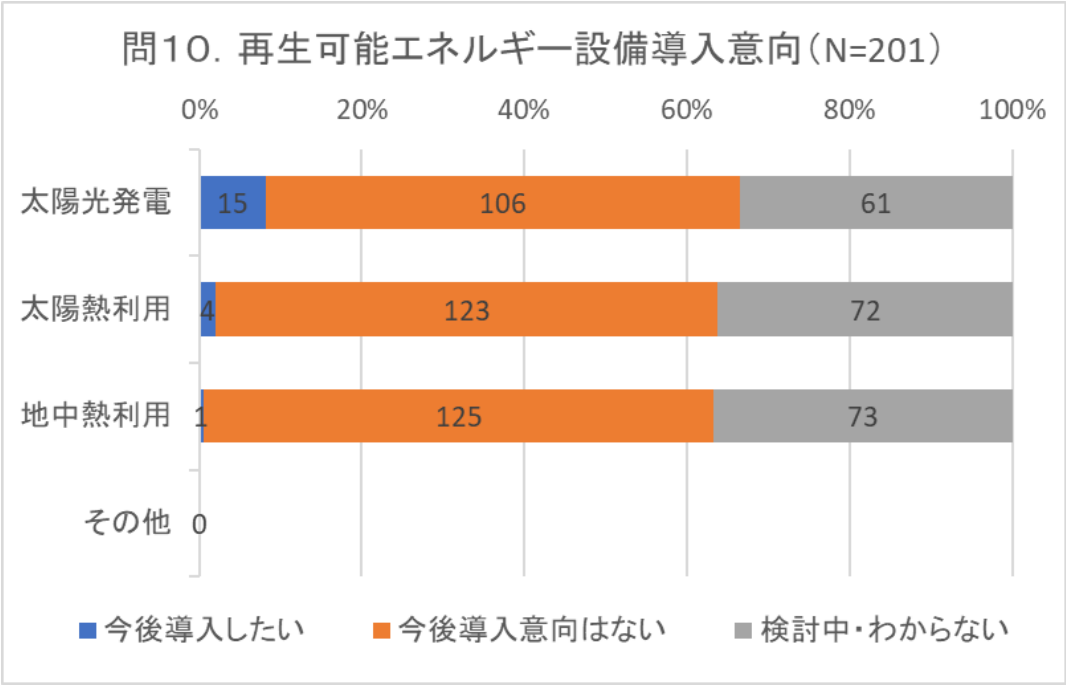


※グラフ内の数値はいずれも回答者数

※調査結果は速報値です。

再エネ設備の導入意向について

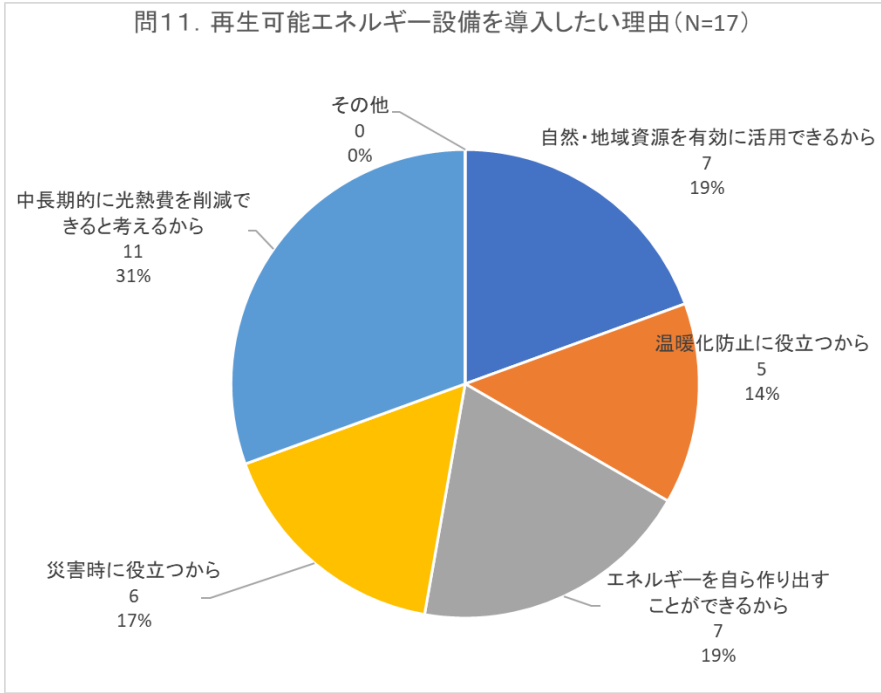
太陽光発電の導入意向があると答えた人の割合は7%で、太陽光発電設備の導入意向がないと答えた人は52%となっている。



※グラフ内の数値はいずれも回答者数

再エネ設備を導入したい理由(複数回答)

再エネ由来電力を今後購入したい理由としても最も多かったものは、「中長期的に光熱費を削減できると考えているから」で31%となっており、次いで「自然・地域資源を有効に活用できるから」および「エネルギーを自ら作り出すことができるから」が19%となっている。

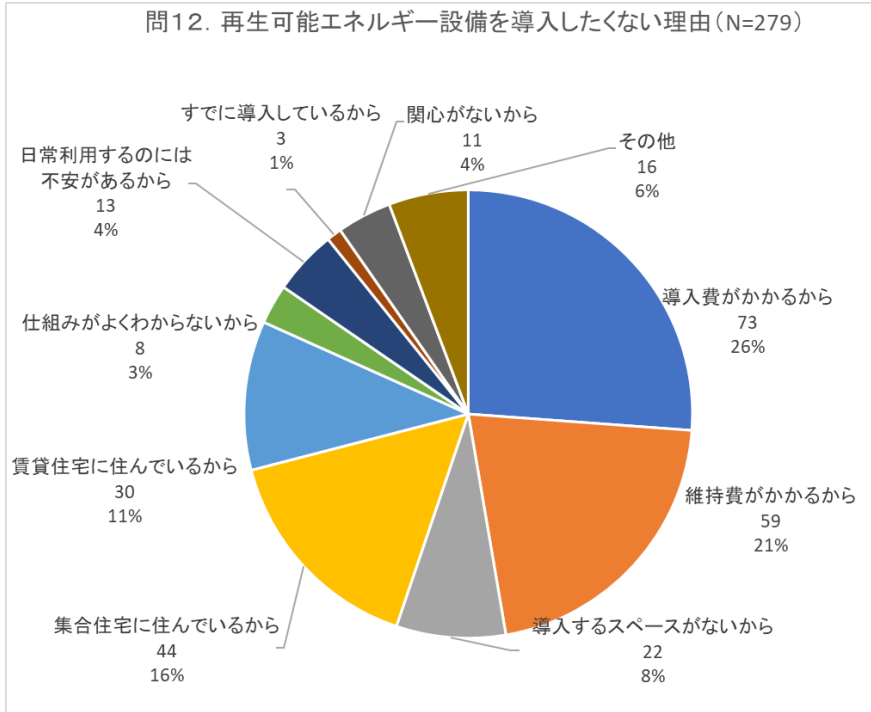


※グラフ内の数値はいずれも回答者数

※調査結果は速報値です。

再エネ設備を導入したくない理由(複数回答)

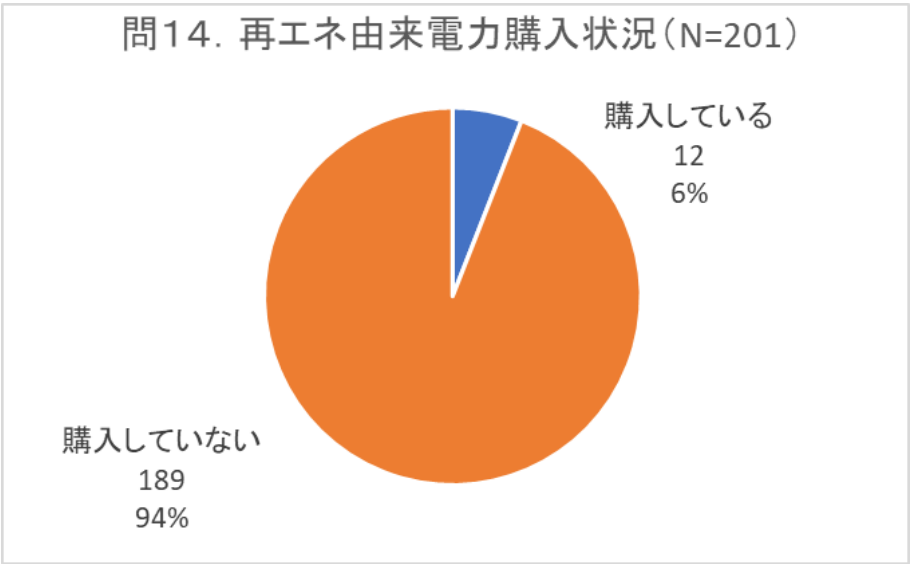
再エネ設備を今後購入したくない理由としても最も多かったものは、「導入費がかかるから」で26%となっており、次いで「維持費がかかるから」が21%、「集合住宅に住んでいるから」が16%となっている。



※グラフ内の数値はいずれも回答者数

再エネ由来電力の購入状況について

再エネ由来電力を購入していると答えた人の割合は6%となっている。

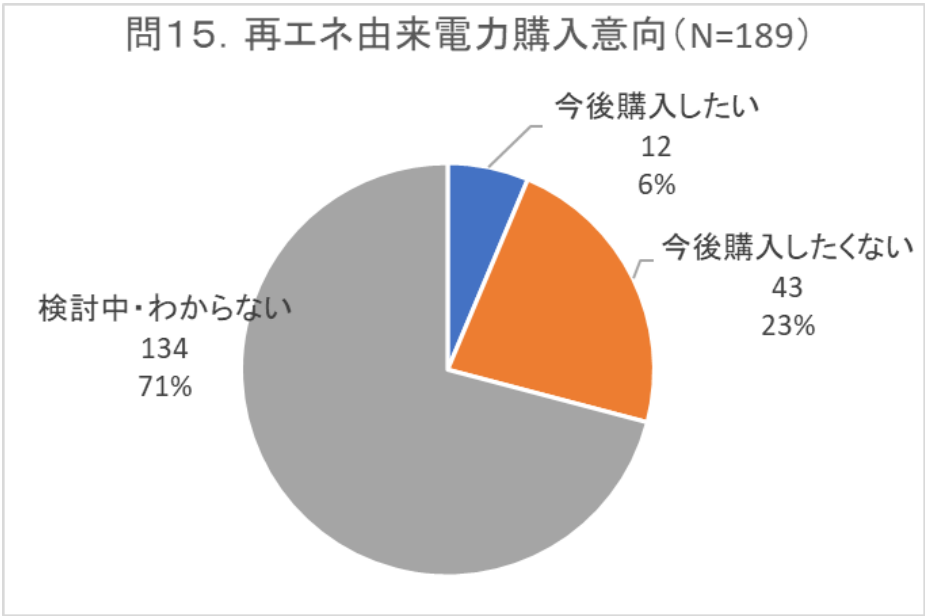


※グラフ内の数値はいずれも回答者数

※調査結果は速報値です。

再エネ由来電力の購入意向について

再エネ由来電力を購入していない人のうち、今後購入したいと答えた人の割合は6%となっている。

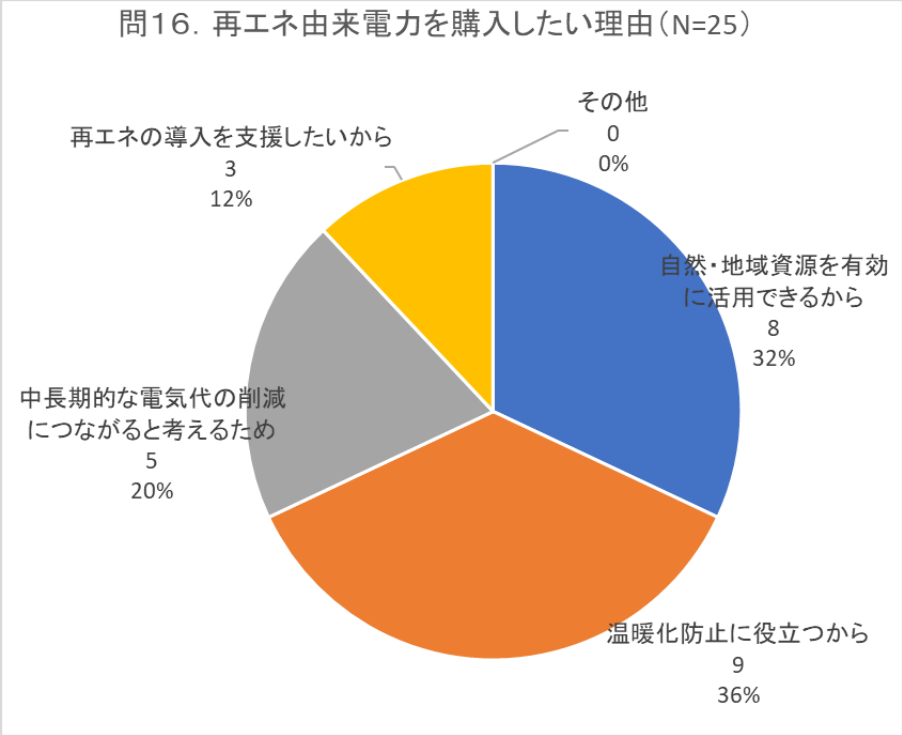


※グラフ内の数値はいずれも回答者数

【出典】令和7年度第2回松戸市脱炭素専門部会資料

## 再エネ由来電力を購入したい理由(複数回答)

再エネ由来電力を今後購入したい理由としても最も多かったものは、「温暖化防止に役立つから」で36%となっており、次いで「自然・地域資源を有効に活用できるから」が32%、「中長期的な電気代の削減につながる」と考えるため」が20%となっている。

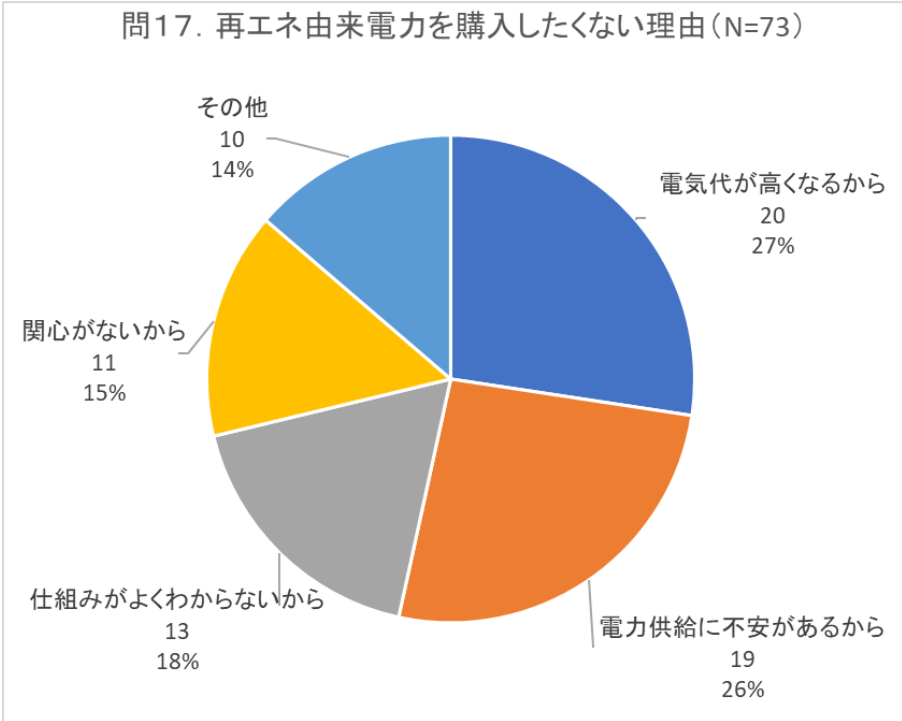


※グラフ内の数値はいずれも回答者数

※調査結果は速報値です。

## 再エネ由来電力を購入したくない理由(複数回答)

再エネ由来電力を今後購入したくない理由としても最も多かったものは、「電気代が高くなるから」で27%となっており、次いで「電力供給に不安があるから」が26%、「仕組みがよくわからないから」が18%となっている。



※グラフ内の数値はいずれも回答者数

# 講義「ゼロカーボンな街づくり」



千葉大学HPより

## 【講師】倉阪 秀史先生

千葉大学 大学院社会科学研究院 教授

## 【専門】環境政策論

カーボンニュートラル、脱炭素、再生可能エネルギー、持続可能性の経済学、環境政策論、合意形成論

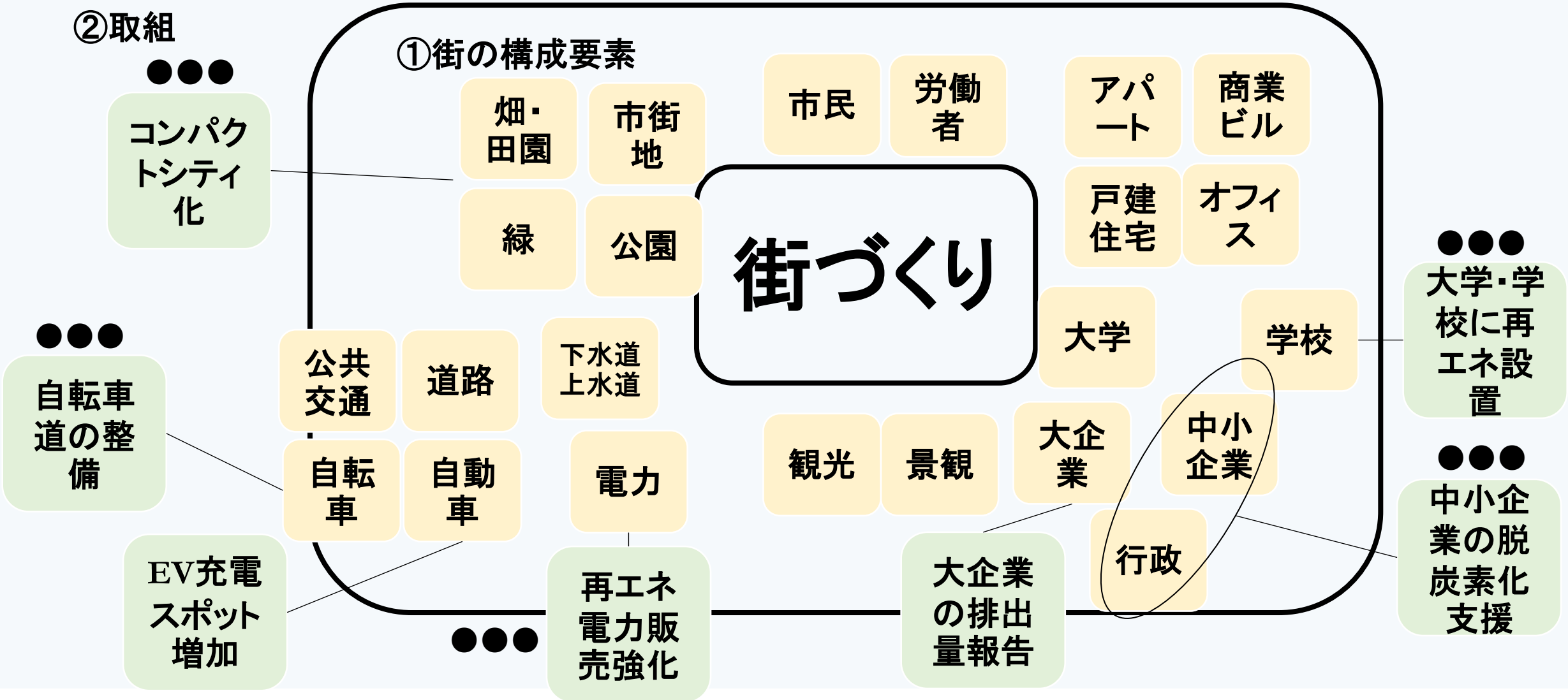
### 略歴

- 1987年東京大学経済学部経済学科
- 千葉大学 大学院社会科学研究院 教授
- 地域の将来の人口や社会構造を予測し、持続可能な政策を考えるためのツール「未来カルテ」、自治体別に人口予測や各種統計データに基づき、再エネ投資可能性を把握することができるツール「カーボンニュートラルシミュレーター」を用いたワークショップを複数回実施。

# 参加者同士の自己紹介



③2050年のゼロカーボンに向けた目指すべき「街」の姿・・・  
「●●●●な街、松戸市」





1. **否定厳禁**: どんな意見がでてきてもそれを否定しない
2. **自由闊達**: 自由な発想を歓迎しとっぴな意見でもかまわない
3. **量を求む**: 数で勝負するので、できるだけたくさんの意見を出す
4. **便乗発展**: 他人の意見に便乗してさらにアイデアを発展させていく
5. **グループの同意**: 意見を文章やキーワードでまとめる際は全員の同意を取る

## 【グループワークの進め方】

### 街を構成する要素を書き出す(15分)

- 1 グループで会話をしながら、街を構成する要素を考えて、ポストイットに書き出す。
  - 例えば『人』『もの(建物・交通・自然環境など)』『制度(ルール・行政計画など)』『活動(産業・交流・文化など)』『情報・技術』といった観点から整理。



## 【グループワークの進め方】

### 街の構成要素から派生した取組を書き出す(25分)

- 1 構成要素に関連した取組を考えて、ポストイットに書き出す
  - 例えば、「大企業」という構成要素に関連し、「大企業の排出量報告を義務付ける」といった取組など。
  - あらゆる構成要素がタグを組んで、取組を実施するなどの提案も歓迎
- 2 貼られた取組をキーワードでまとめる



## 【グループワークの進め方】

2050年のゼロカーボンに向けた目指すべき「街」の姿を文章にする(10分)

1 提案された取組を総括して、目指すべき街の姿について、アイデアを出し合い、文章化

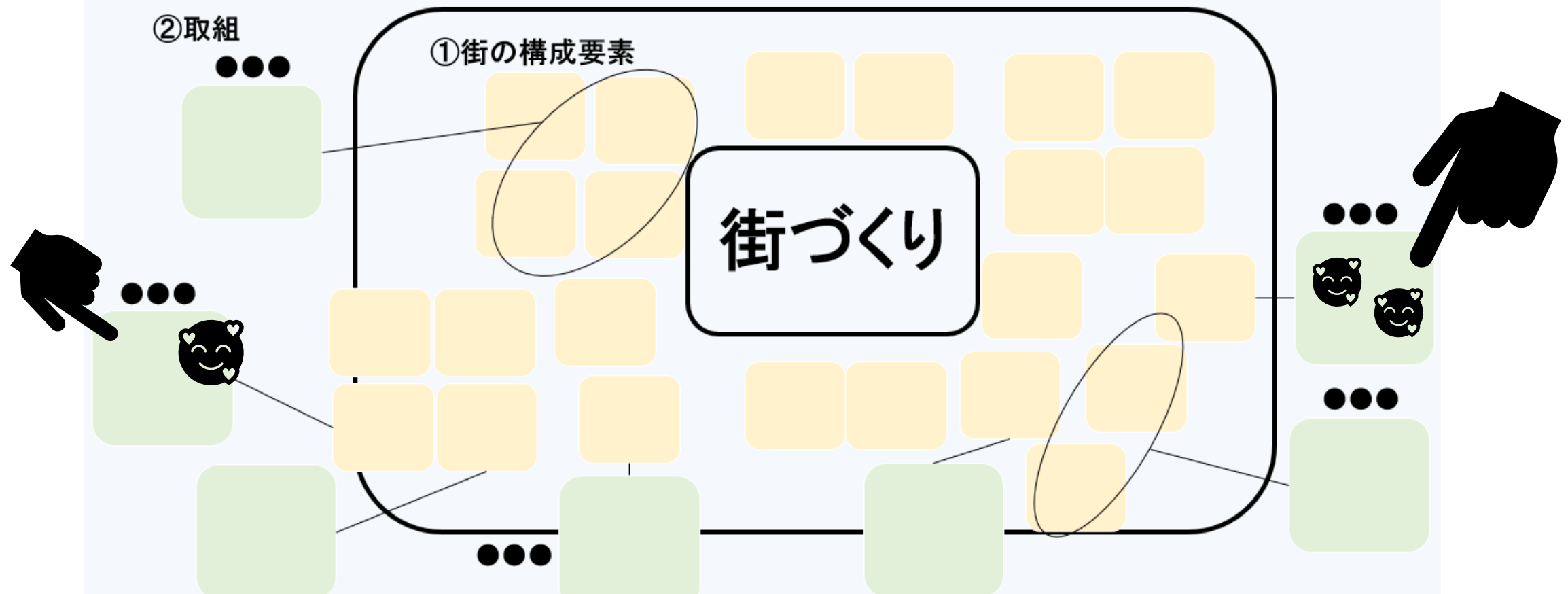


## 【投票の進め方】

15分以内に、他のグループの取組を見て回り、良いと思う取組に**1人10個**までシールで投票する。

③2050年のゼロカーボンに向けた目指すべき「街」の姿…

「●●●●な街、松戸市」



## 【グループワークの進め方】

投票結果を受けて、再度グループの取組を整理、発表準備(15分)

- ・ 他グループからの投票結果を受けて再度、市民が実施する必要のある取組をグループの意見として整理
- ・ グループワークの成果発表に向けて発表する事項を整理(発表者の選定 1～2人程度)
- ・ 発表事項は『構成要素から派生した取組』について、『目指すべき街の姿』について
- ・ 各グループ2～3分に収まるように内容を整理 (グループ1→グループ2→・・・の順番)

# グループワークの成果発表

# 本日の総括



最終会

## 第5回テーマ 目指せ！脱炭素な松戸市

### 【日 時】

2025年10月26日（日）

13:00～17:00（12:40受付開始）

### 【場 所】

キテミテマツド9階 アートスポットまつど  
（住所：松戸市松戸1307の1）

本日と同じ

次回会議の投票に向け、「住まい」、「移動」、「街づくり」のテーマ別の提案について目を通しておく。



- ✓ アンケートへのご協力をお願いいたします。
- ✓ お帰りの際にクオカードをお渡ししますので受付までアンケートと名札をもっていらしてください。その際、クオカードの受領を確認するために、サインをいただきます。
- ✓ この会場は、18:00までご利用いただけます。  
参加者同士の交流の場としてご利用ください。